

# 船橋市議会議員

(39歳)

みっはし

# 三橋さぶろう



## 議会活動報告

2017年11月2日発行

### 健康福祉委員会の視察

10月30日から31日に健康福祉委員会のメンバーとして、兵庫県明石市と広島県呉市に行政視察に行っていました。

明石市では子ども養育支援事業について、市長の泉房穂さんから直接お話を伺いました。私は昨年にも明石市に児童相談所のことについて調査に訪れていましたが、その時に感じた児童相談所で働く専門職員の確保不足について、直接市長に質問することができました。市長からは2019年に児童相談所を開設する準備状況の説明があり、人材確保は全国で公募して対応しているとのことでした。また、職員を兵庫県の中央児相と神戸市児相、名古屋市児相に職員を派遣していることも判りました。私の調査では児童相談所を新たに開設する市では、今まで管轄してきた県児相のみに職員を派遣しています。明石市は市が運営している児相にも職員を派遣して、県児相との違いが無いかなど調査研究も進めているようです。こうした手法は船橋市でも取り入れていくべきだと感じました。

この他、明石市では行われている離婚前後のこども養育支援についてもお話を伺いました。

(うら面へ)

### 三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(39歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業  
株式会社カネボウ  
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 当選  
・健康福祉委員会 ・民進党会派
- 特 技: クロスカントリースキー  
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ  
2002年ソルトレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 家族:妻、息子(4歳)

(表面から)

離婚届書を役所に取りに来た場合、配布と合わせて子どもの養育について取り決めを促すために養育費の額や支払日、振込先や期間、面会交流等についてどのようにするのか合意書の参考書式を配布しています。これは取り決めをしっかりと行うことで、子どもが不利益を被らないことを目指しています。この取組は船橋市でもすぐにできると感じましたので、市に実施を求めていきたいと思えます。

呉市では減塩食についての取組についてお話を伺いました。塩分のとり過ぎは高血圧になるだけでなく、脳卒中、心臓や腎臓などに悪影響があり生活習慣病を引き起こすとされています。このため日本高血圧学会では1日の塩分量は6g未満を推奨しています(WHOでは5g未満)。

千葉県が平成27年に行った栄養調査では船橋市の男性は1日に食塩を11.5g、女性は10.4g摂取しているとの調査結果が出ています。呉市では減塩のためのキャンペーンやプログラム、食育を徹底して行った結果、特定健診を受けた人の推定食塩摂取量は男女合わせて約8gまで減塩できたそうです。船橋市も減塩の取組が必要だと痛感しました。

## 平成29年第4回船橋市議会

11月17日(金)から12月22日(金)まで、平成29年第4回定例会が開かれます。会議日程や議案等については市議会ホームページをご覧ください。市議会はインターネットでも中継されています。

## 三橋さぶろう市議会報告会

日時：平成29年12月23日(土) 10:00~12:00

場所：三橋さぶろう事務所 (駐車場はありません)

1時間ほど議会活動報告。その後、質問や要望をお聞きし、意見交換させていただきます。

## ご意見やご要望をお寄せください。

〒274-0063 船橋市習志野台4-10-12 (新京成線習志野駅から徒歩4分)

電話：047-402-2810 FAX：050-3488-3190

E-mail：[funabashi@mituhashisaburo.jp](mailto:funabashi@mituhashisaburo.jp)

HP：<http://mituhashisaburo.jp>

三橋さぶろう まで

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。